

左右田喜一郎 きいちろう 經濟學者、法學博士。明治十四年一月二十八日  
 神奈川県生れ、昭和二年八月十一日歿（六二—一九二七）。明治二十七年  
 東京高等商業學校卒。歐洲留學後、東京商科大学、京都帝國大學各講  
 師。大正四年家業を繼いで左右田銀行頭取となり、神奈川県經濟會の評  
 議員、横濱社會問題研究所所長等を務めた。十四年貴族院議員。『左  
 右田喜一郎全集』全五卷（左右田博士記念會編、昭和五年八月十日—  
 十六年五月十日岩波書店）刊。

著書 『經濟哲學の諸問題』（改訂・大正十一年二月十一日岩波書店）、  
 『文化價值と極限概念』（大正十一年五月五日岩波書店）、『經濟法  
 則の論理的性質』（勝本鼎一譯、大正十二年四月八日岩波書店）、『貨  
 幣と價值（論理的—研究）』（川村豊郎譯、昭和二年二月五日同文  
 館）等。

文獻 『左右田博士の面影』（昭和四年一月）『十五日印刷・神奈川県經濟  
 會』、左右田博士五十年忌記念會編『左右田哲学への回想』（昭和五  
 十年九月）『二十四日創文社』、斎藤慶司著『左右田喜一郎伝』（昭和六  
 十二年）二月二十四日神奈川県・斎藤郁子刊）等。

